佐谷田地区 まちづくりだより

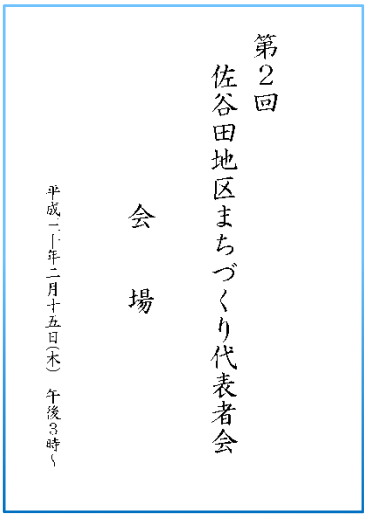


NO.4

2018.03.28作成
編集発行：熊谷市　産業振興部　東部地域開発推進室

第2回まちづくり代表者会を開催しました

平成３０年２月１５日（木）、第２回佐谷田地区まちづくり代表者会を開催しました。今回の会議の内容は、以下のとおりです。



１.開会
２.前回会議の課題について
（１）地区内水路について
（２）国道と駅前道路の交差点について
（３）国道南側の歩道整備について
（４）課題についての意見交換
３.今後のスケジュール等について
４.閉会

今回、代表者会９名中、７名の会員にお集まりいただきました。

開会のご挨拶は、前回会議で代表者会会長にご就任されました、株式会社熊谷青果市場の飛田社長よりいただきました。

【飛田会長のご挨拶】
前回皆様がいろんな意見を下さったものがたたき台となり、本日の議題となりました。今回は２回目、前回同様忌憚のないご意見をいただいてこの会が進み、佐谷田の地域が発展するように、そういう思いを持ちながら進めていければと思います。
本日はどうもありがとうございます。

続いて「前回会議の課題について」説明され、課題に対する皆様のご意見をお聞きしました。

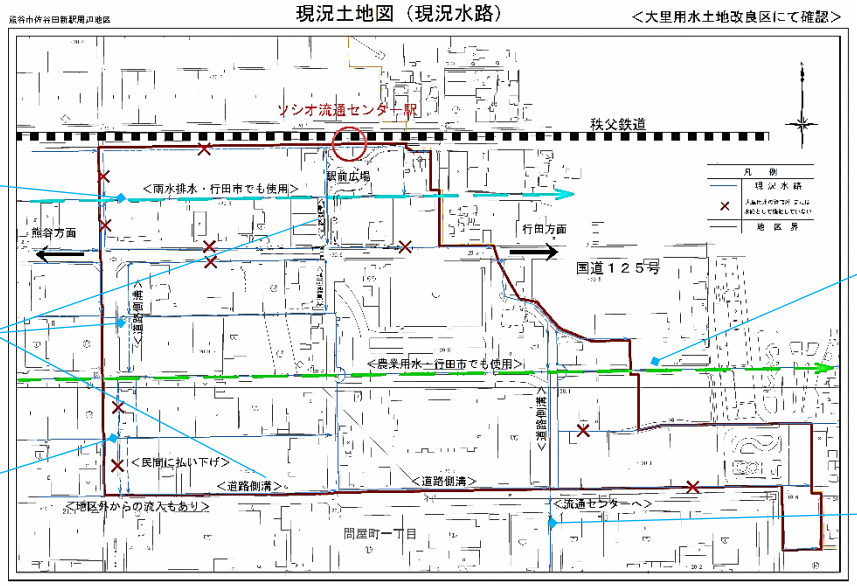




前回の課題についての検討報告を行いました

課題①「地区内水路について」

地区内水路を管轄する、大里用水土地改良区へのヒアリングを行い、地区内に行田市でも使用している農業用水路と雨水排水路が通っていることなどがわかりました。開発に当たっては、この２本は残す必要があり、ほかの流通センター側へ流れている水路については、計画により切り回すことが考えられます。



雨水排水路。
行田市でも使用。

道路側溝として
付け替え。

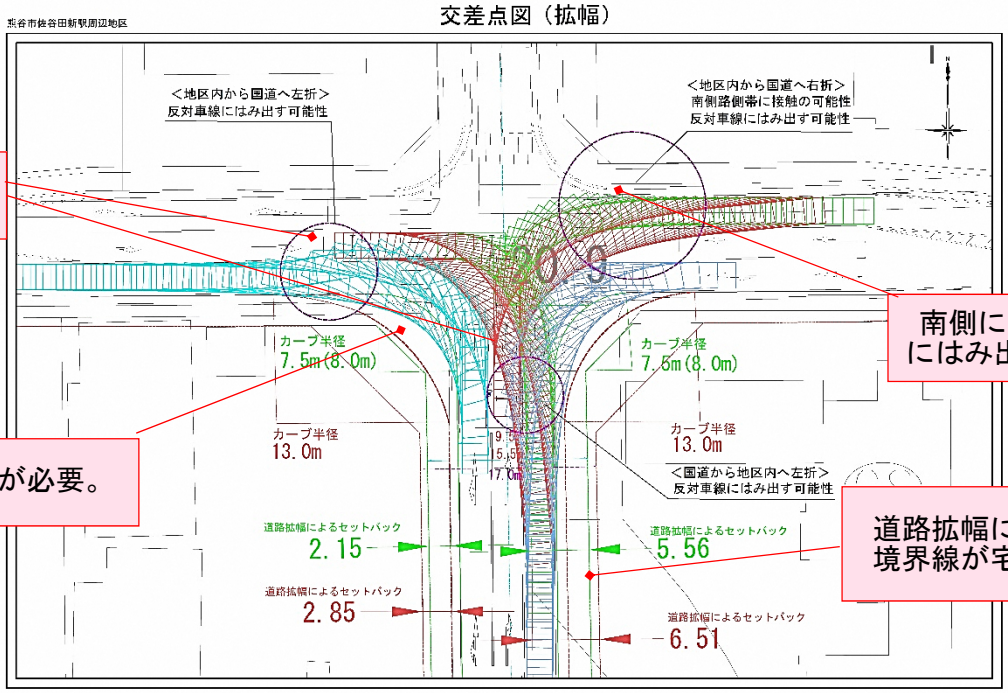
一部民間に
払い下げ

農業用水路。
行田市でも使用。

流通センターへ

課題②「国道と駅前道路の交差点について」

駅側の道路と同等の設計を想定し、車両のカーブ軌跡を検討したところ、大型車の出入りが困難であることがわかりました。大型車の出入りを可能にするためには、交差点の道路を大きく拡幅する必要があると考えられ、今後、交通調査の実施、警察との交差点協議等を行い、適切な道路設計を行う必要があります。



反対車線にはみ
出す可能性あり

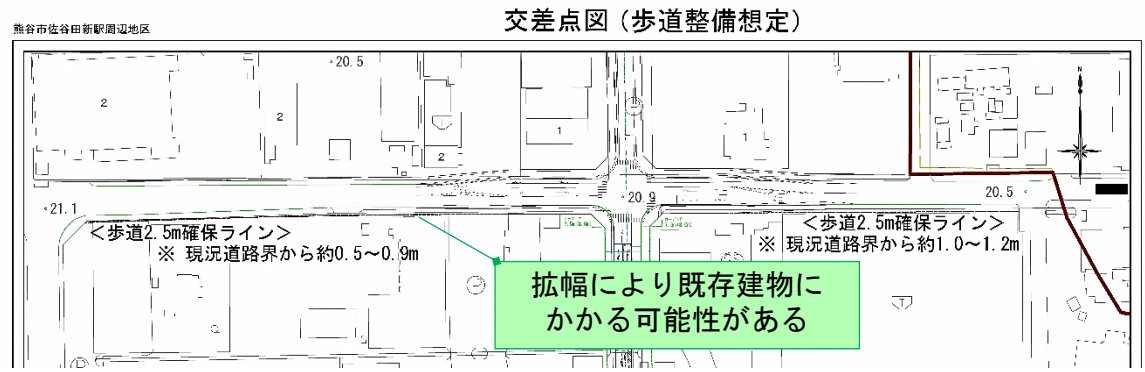
交差道路の拡幅が必要。

南側に接触、反対車線
にはみ出す可能性あり。

道路拡幅により道路との
境界線が宅地側に寄る。

課題③「国道南側の歩道整備について」

北側の現状（歩道約２.５ｍ）に合わせた想定図を作成しました。基本的には道路境界が既存建物にかからない計画としますが、歩道拡幅の幅によっては既存の建物に引っかかってしまう可能性もあります。今後、正確な測量を行ったうえ、道路管理者（埼玉県）や警察との協議が必要となります。



《課題についての意見》

- 水路の清掃、管理について、行政との取り決めが必要。
- 交差点には信号機の設置を要望する。
- 上水道等、ライフラインの整備もして欲しい。

次回は、これらの課題や意見を整理したうえで、最良と思われるまちづくり構想及び事業手法の素案をご提案させていただき、皆様のご意見をいただきたいと考えています。

代表者会の皆様、大変お疲れ様でした。そして沢山の貴重なご意見、誠にありがとうございました。今後とも、よろしくお願いいたします。

代表者会のようす

開催中

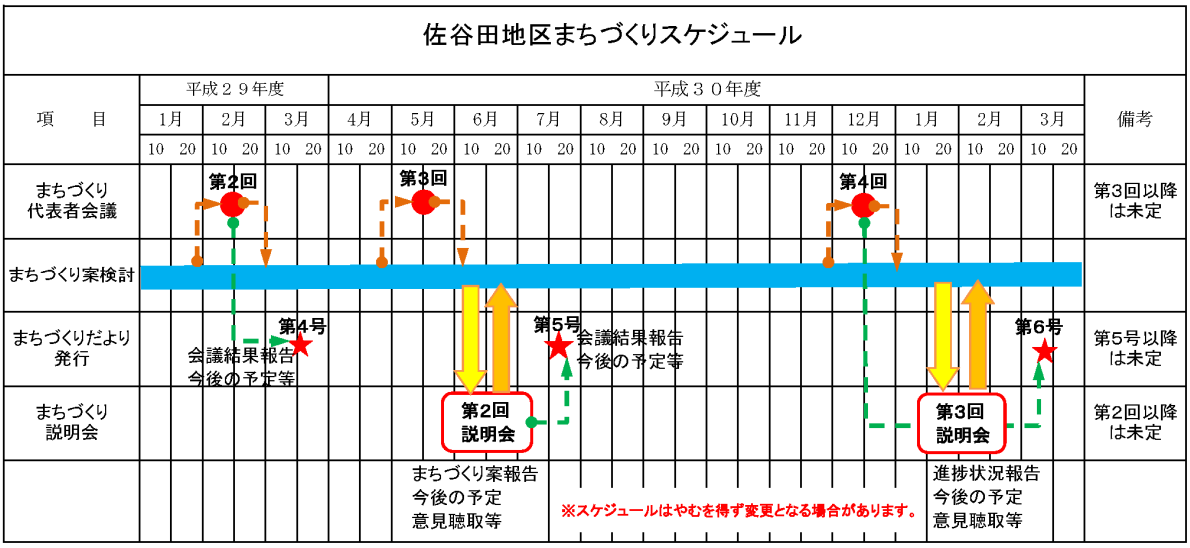


今後のスケジュールについて

前回と今回の代表者会での意見を基にまちづくりの構想案を作成し、来年度の５月頃に「第３回まちづくり代表者会」でご検討いただく予定です。

その成果をもちまして、６月頃に「第２回説明会」を開催し、住民の皆様のご意見をお聞きしたいと考えております。

本年度は本誌の発行で終了ですが、来年度のスケジュールは以下のとおりです。



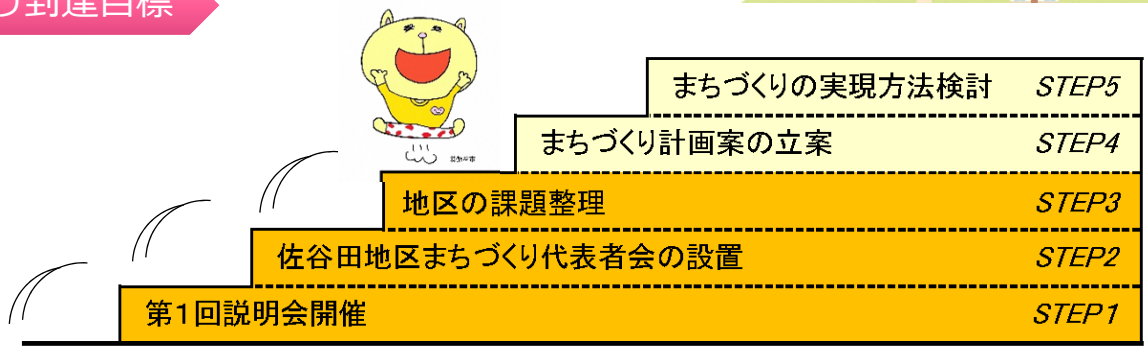
なお、スケジュール等は変更になる場合もありますのでご了承下さい。

今後も代表者会で検討した内容については『説明会』や本誌『まちづくりだより』などを通じて皆様に情報を提供していきたいと考えております。

来年度も皆様のご理解ご協力をいただきながら、佐谷田地区のまちづくりに向けて検討して参りたいと考えておりますので、ご意見をよろしくお願いします。



まちづくり到達目標



お問い合わせ先
熊谷市役所　産業振興部　東部地域開発推進室（本庁舎7階）
TEL：048-524-1470　FAX：048-525-9335
E-mail：tobukaihatsu〔アットマーク〕city.kumagaya.lg.jp